

●未受診妊婦防止・解消キャンペーンの実施について

札幌市では、1月18日から「未受診妊婦防止・解消キャンペーン」を実施します。これは、未受診のまま出産を迎えることの危険性を広く市民に訴えるとともに、誰もが安心して妊娠・出産できる社会づくりを呼び掛けるもの。「赤ちゃんのキモチで考えよう!」をコンセプトに、妊娠から出産までの間の危険なことや大切なことについて、誰もが理解・共感できるような取り組みにしていきます。

今年度は、市内の薬局・ドラッグストアなどでのポスターの掲示や啓発用品の配布から始め、今後、企業のCSR活動や学生との連携によるキャンペーンへと広げていきたいと考えています。

1 未受診妊婦防止・解消キャンペーン

(1) 目的

未受診のまま出産を迎えることの危険性を広く市民に訴えるとともに、誰もが安心して妊娠・出産できる社会づくりを呼び掛ける。

(2) コンセプト

赤ちゃんのキモチで考えよう!

〔 未受診妊婦の問題は、当事者である妊婦だけでなく、家庭問題や周囲の無関心など、「オトナ側の都合」による社会の問題でもある。そこで、発想を転換し、かつては誰もが赤ちゃんであったことに着目し、「赤ちゃんのキモチ」になって考えることをコンセプトにしています。〕

(3) 開始日

平成22年1月18日

(4) 内容

地下鉄車両内や薬局・ドラッグストアなどにポスターやステッカーを掲示するほか、市内各所で啓発用品（リーフレット入りポケットティッシュなど）を配布。また、専用ホームページ（パソコン用（<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/mi jyushin/>）、携帯用（<http://www.city.sapporo.jp/mobile/common/mi jyushin/>）も立ち上げます。また、各区保健センターなど関係部局の職員がバッジを着用します。

(5) キャンペーンのパートナー企業・後援団体

《パートナー企業》

アインファーマシーズ、サッポロドラッグストア、ツルハホールディングス

《後援団体》

社団法人札幌市医師会、社団法人札幌薬剤師会、社団法人北海道看護協会

2 関連の取り組み

安心・安全な妊娠・出産を呼び掛けるため、1月18日から「妊娠届出書」を赤ちゃんからのメッセージの入った新しい様式に変更します。

3 札幌市のこれまでの取り組み

- (1) 助産師オペレーターによる産婦人科救急情報システムの運用開始（平成20年10月）
- (2) 助産師による産婦人科救急電話相談窓口を設置（平成20年10月）
- (3) 産婦人科二次・三次救急医療体制の再整備（平成20年10月）
- (4) 妊婦検診に対する助成を拡大（平成21年4月）

問い合わせ先

保健福祉局保健所医療政策課 石田・田原

電話：622-5162